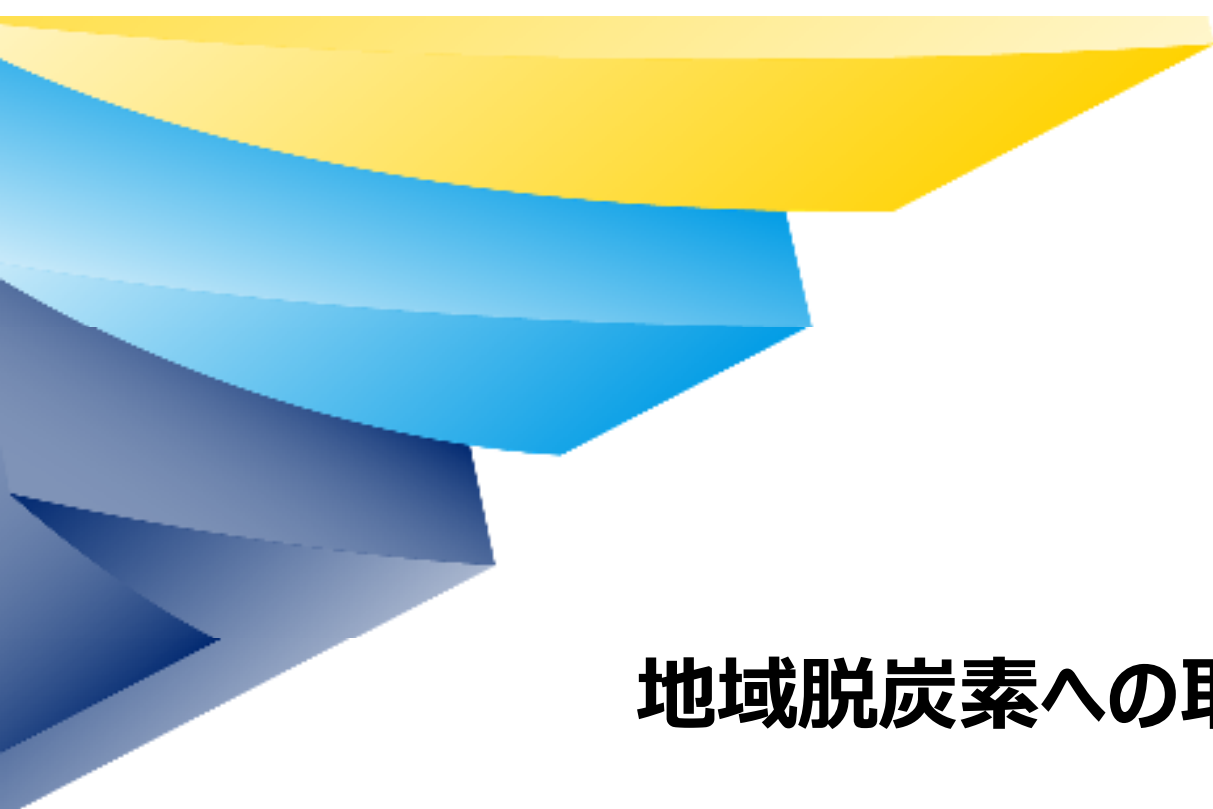




地域脱炭素への取組について

グリーン製品の需要創出等によるバリューチェーン全体の脱炭素化に向けた検討会

2025年5月29日

常務執行役員 武元忠雄



東京海上日動

次の一歩の力になる。 

当社が地域脱炭素に取り組む背景・想い

東京海上日動の経営理念

お客様の信頼をあらゆる事業活動の原点におき、「**安心と安全**」の提供を通じて、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献します。

GX×地域×経営理念

GXをテーマに地域発のビジネス創造に取り組み、豊かで快適な地域社会生活と地域経済の発展に貢献する。

各地域のGXにおける経営理念の実践は・・・

**地域脱炭素の貢献となり、
国の政策の社会実装に繋がっていく**

脱炭素領域での目指す姿

お客様が展開する“グリーンビジネスの促進”、“カーボンニュートラル経営・地域脱炭素における課題解決”のお役に立つことにより、お客様が発展し、社会が豊かになり、（結果として）当社も成長している。

“お客様の持続的な発展”
“サステナブルで豊かな社会への貢献”
を実現するエコシステムの構築をお支えする
組織能力を磨いていきたい

脱炭素領域取組みの概要

カーボンニュートラル支援

<提供先のイメージ>

大企業、中堅・中小企業、金融機関
自治体、商工団体、地域有力企業 等

<当社貢献領域>

保険に留まらない“ソリューション”の開発・提供を通じて、企業や地域のカーボンニュートラル経営戦略/政策の策定・実行を支援（主にエネルギーの需要サイド）

地域コンソーシアム事務局運営

TCFD
開示支援

サステナ・ESG
経営支援
コンサル

GHG排出量
算定支援

再エネ導入
カーボンクレジット
購入支援

グリーンビジネス促進

<提供先のイメージ>

再生可能エネルギーやグリーン燃料に関連する事業者

<当社貢献領域>

保険やリスクアドバイザリーサービスの開発・提供を通じて、クリーンエネルギーの安定供給等を支援（主にエネルギーの供給サイド）

太陽光

洋上風力

陸上風力

CCUS

カーボン
クレジット

本日は長野県での具体事例をご紹介します

GX・地域脱炭素推進による長野県の地域の価値&企業の価値向上を支援する 東京海上日動 長野支店の取り組みのご報告

東京海上日動火災保険株式会社
長野支店

2025年5月29日



東京海上日動

次の一歩の力になる。

パーパス



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動

お客様や社会の“いつも”を支え、“いざ”をお守りする

東京海上日動 長野支店 の社会課題&経営課題解決の取組

- ✓ 長野県の地域の価値・企業の価値向上を支援する脱炭素・GX推進
- ✓ 海外を起点とした「信州ブランド」価値向上支援 （海外輸出支援）
- ✓ 大規模自然災害 および 新たなリスク（サイバーリスク・感染症リスク）に
備えるBCP策定支援
- ✓ 「除雪支援システム」による除雪車の自動運転実証実験実施等、社会課題解決支援

長野地域脱炭素実現推進協議会でのプロジェクトが目指すもの（2023年8月発表時）

自治体・企業・経済団体向け説明資料

プロジェクトが目指すもの Goals of the project

地域脱炭素推進による長野市の価値向上 & 企業の価値向上



2023年度実証プログラム

CO2排出量の実態把握

- ✓ CO2排出量可視化クラウドサービス提供による
CO2排出量可視化／Scope 1・Scope 2対象（最大50社）
- ✓ 脱炭素経営に関するセミナー開催・普及啓発・情報提供
- ✓ 長野市地域由来の「地中熱」「地下水熱」利用可能性のご紹介



2024年度以降の展開イメージ

CO2排出量削減目標設定 具体的削減へのフェーズ移行

- ✓ Scope 3 CO2排出量実態把握へのチャレンジ検討
- ✓ 長野市地域由来の地下水熱・地中熱技術等による
CO2排出量削減検討



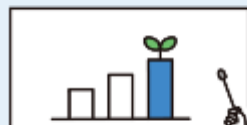
CO2を排出しない
脱炭素・低炭素への
イノベーション創出
ビジネスモデル転換

CO2排出量可視化

CO₂



企業価値向上



CO2排出量可視化クラウドサービスについては
以下の2社の企業のサービスよりご選択を頂いております。

- ・ CO2排出量実態把握対象 ： Scope 1 ・ Scope 2



長野市 HPでの「長野地域脱炭素実現推進協議会の紹介」(2025年5月公開)



2025年度の活動に向け、関係者・長野市・商工会議所とミーティング

「脱炭素」で魅力ある長野市へ！ 産官学金が連携して取り組む 「GXモデル」構築への挑戦

新産業につながるビジネスアイデア創出のために開催された長野市の産官学金連携プロジェクト「NAGANOスマートシティコミッション (NASC / ナスク)」のプロジェクトをきっかけに生まれた【長野地域脱炭素推進 BOARD】は、株式会社守谷商會を代表企業に、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社TOSYS、ライフライン長野株式会社、LLPソーシャルデザインセンター、ホクト株式会社と、6社の「地域企業」が主体となって脱炭素化を推進するという全国的にも珍しい取り組みを展開しています。2023年8月にNASCから採択を受けた実証プロジェクトでは、長野市及び市内企業に向けたCO₂排出量可視化サービスの提供や、脱炭素を目指す企業へのセミナー等を開催。地域におけるビジネスを「脱炭素経営」へと転換していくことで、企業の価値向上や「地域の魅力アップ」を目指しています。



長野市企画政策部にて長野地域脱炭素推進BOARDの取組を特集頂き、長野市のHP上でご紹介頂いております。なお、当該特集記事を作成頂いた制作会社は令和6年度の「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」にて、“GX推進モデル企業輩出プログラム”に応募下さった広告制作会社でございました。脱炭素経営支援を通じて、既に広告制作業においてもGXにチャレンジされています。

<https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p006182.html>
長野市HP【長野地域連携中核都市圏】
未来へつなぐながのSDGs information より一部掲載

長野市を世界基準の「自慢したくなるまち」へ

所属企業も年齢も性格も異なるメンバーで構成される【長野地域脱炭素推進BOARD】。しかし、目指すのは「長野市と企業の価値向上」という共通のゴールです。

長野市の企業が世界共通基準のCO₂排出量算出と情報発信を行うことで、国内外のサプライチェーンからの評価が向上し、業績が伸びる。地域の住民や子どもたちが誇りの生まれる。さらに、首都圏の企業が長野市に本社を移転したり、支社・工場を設立することで人口増加や雇用創出につながる。「脱炭素」はこの好循環を生み出す鍵になるはず。

長野の街をより魅力的にし、次世代を担う子どもたちが安心して未来を築けるよう、今後も取り組みを進めていきます。



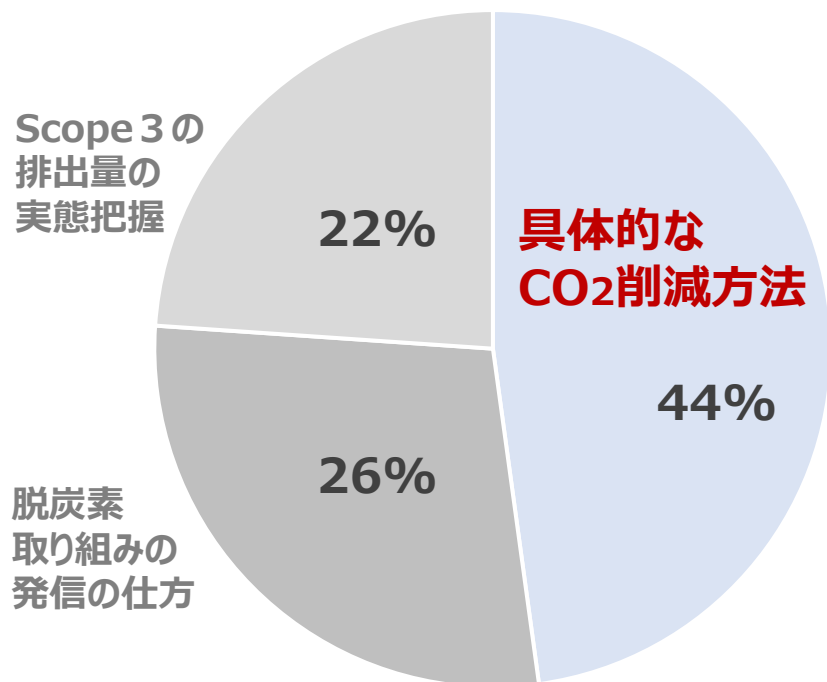
長野市、長野商工会議所と協議会が協働した地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業における体制図

長野市の企業における脱炭素推進における課題、関心のあるテーマ

カーボンニュートラル実現に向けて感じている課題については、「具体的なCO2削減方法」が最も多く、「脱炭素取り組みの発信の仕方」、「Scope 3の排出量の実態把握」という結果でございました。先行してScope1・Scope2のCO2排出量を算出している企業においては、Scope3の実態把握において懸念を感じているコメントがございました。特徴的であったのは、脱炭素経営の重要性が経営陣と社内の各部門において醸成できていないという懸念と脱炭素推進を行う人材不足に関する不安に関するコメントが多くございました。関心のあるテーマの中には、“若い世代の意識や現在のゼロカーボンに関する大学・高校の教育の現状についても知りたい”というコメントも複数ございました。

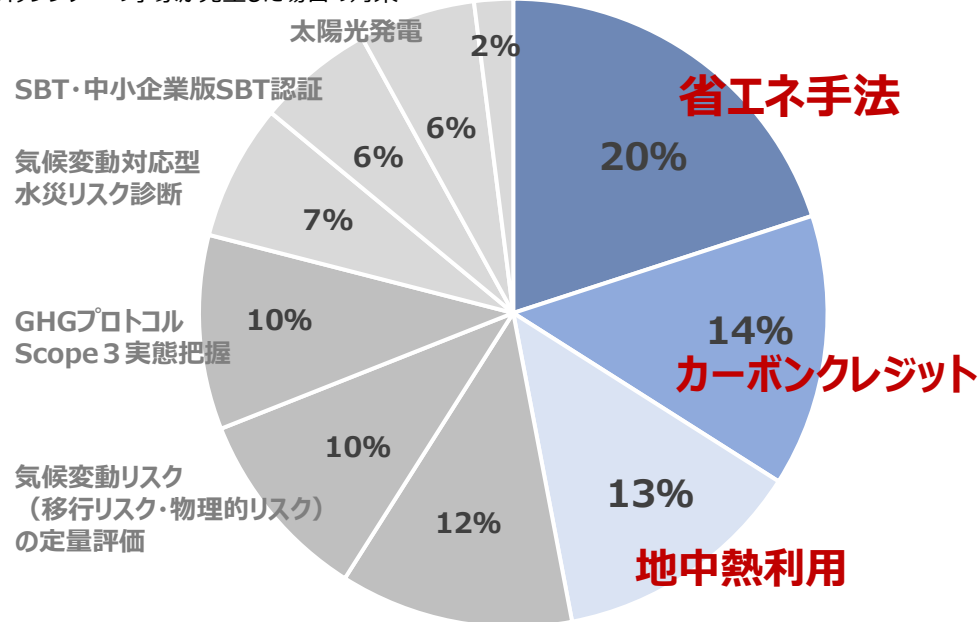
・設立総会・説明会 参加企業71 社 アンケート回答企業数50 社(事務局企業除く)/参加企業71 社はあくまでも設立総会・説明会への参加企業であり、長野地域脱炭素実現推進協議会参画企業ではない。

カーボンニュートラル実現に向けて感じている課題、悩みについて



長野地域脱炭素実現推進協議会を通じて、知りたいこと・関心のあるテーマ

気候変動に関する開示内容についての虚偽および未開示、“グリーンウォッシング”の事象が発生した場合の対策



脱炭素・GX実現がもたらす具体的・直接的な企業価値とは？

「脱炭素・GX実現がもたらす 具体的・直接的な企業&地域価値向上への期待」セミナーでのポイント（2023年度の振り返り）

会員企業・自治体・経済団体向けご説明資料

上場非上場、事業規模に関わらず企業がESG・GX・脱炭素に取り組むことは、企業価値向上に繋がります。それゆえ、金融機関およびESG投資家は、より非財務情報の開示を重要視しています。新しい企業価値は、「財務情報＋非財務情報の開示」によって成り立つものであり、脱炭素推進の取り組みは新たなイノベーション・新たなビジネスモデルを創り、売上高向上・生産性向上・従業員満足度向上・採用増加の具体的価値に繋がります。



全ての企業において企業価値が向上する

上場非上場／グローバルな取引の有無／売上高規模の大小 に関係なく、すべての企業において脱炭素経営に取り組むことは企業価値を向上させる。

SDGs、脱炭素等の教育機会が増えている

大学生・高校生などの若者は、「SDGs」「脱炭素」「エシカル」などの社会課題解決への意識も高く、実際の教育もそのようなテーマに沿って考える機会が従来と比較して圧倒的に増えている。

社内において脱炭素推進人材の輩出の必要性

企業における脱炭素経営推進のため各部門における業務へのビルトインとその脱炭素推進人材輩出が必要となっている。（生産・販売・人事部門etc）

脱炭素推進取り組み発信が価値の向上に繋がる

CO2排出量、気候変動リスクやそれに伴う取り組み・各種情報開示が企業価値を向上していくことに繋がる。

新たなビジネス創出の機会となる脱炭素

カーボンニュートラル実現がゴールではなく、その実現に向けて新しいビジネス創出が創出される。

災害時のエネルギーの確保・復旧・活用が重要

GXを通じた災害時の再生エネルギー活用による復旧のための電源・電力確保が重要。（真のレジリエンスの実現）

企業価値&地域価値向上のための「データ連携」

行政と一体となった地域価値&企業価値に繋がる取り組み発信およびデータ連携の重要性が増している。

2023年度取組終了時 : 「次のステージに進んだ」ことで分かった次の課題

2023年 取組推進前の課題

長野地域脱炭素実現推進協議会 設立前の課題 2023年7月当時



・海外との取引のある大企業でもなく
上場企業でもない 企業に
本当に脱炭素経営は必要なのだろうか？



・得られる「企業価値向上」とは具体的に
どのようなものなのだろうか？



2023年度 取組終了時の課題

長野地域脱炭素実現推進協議会 1年度目終了時の課題2024年3月当時



・脱炭素推進の優先順位が社内で
上がらない。

・経営企画部門のような「一部の部門」
だけが脱炭素に取り組んでいるのみで
多くの部門・従業員は関与していない



・今の学生・就活生は本当に「脱炭素・
ゼロカーボン」「SDGs」というテーマに
関心があるのだろうか？

事業規模関係なく、 すべての企業にメリットあり

企業価値向上＝売上高向上、収益性向上、ウェルビーイング、
採用増、イノベーション創出、ビジネスモデル変革
組織活性化、女性の活躍推進、etc.

大学生までの「SDGs」「脱炭素」等の
教育機会が増え、採用に好影響を与える

2024年度の重点取組として設定

「採用力強化」・「GX推進モデル企業輩出」

- ・経営戦略としての「脱炭素推進」が
採用に好影響をもたらす
企業価値向上セミナー・ワークショップの開催
- ・「GX推進モデル企業輩出プログラム」の展開

令和6年度の「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」通じた 「長野地域脱炭素実現推進協議会」の2024年度 重点取組

2024年度は

- ・ 人事採用責任者向けセミナー・ワークショップ
 - ・ GX推進モデル企業輩出プログラム
- を重点取組専門プログラムとして展開致しました。

具体的な
企業価値向上 

2つの
重点取組専門プログラム 

最終的な
ゴール 



今年度フォーカス


**① 人事採用責任者向け
セミナー・ワークショップ**
“学生の立場”から
脱炭素経営推進がどのような
好影響をもたらすのかを考える機会


**② GX推進モデル企業
輩出プログラム**
個社に経営課題ヒアリングと
脱炭素を通じた打ち手の提案を通じて
脱炭素経営のモデル企業創出に向けたチャレンジ



脱炭素経営推進を
経営課題解決
のための「**経営戦略**」と位置づけ、
“採用”・“モデル企業輩出”
にフォーカスして取り組みを展開

経営戦略としての「脱炭素推進」が採用に好影響をもたらす 企業価値向上セミナー・ワークショップ

人事・採用部門/責任者限定 専門プログラム

経営戦略としての「脱炭素推進」が
採用に好影響をもたらす
企業価値向上セミナー・ワークショップ



採用活動に好影響をもたらすために
「3回」のセミナー・ワークショップにて実践的な脱炭素経営採用をお伝え致します

Day1

カーボンニュートラルの基本を
学ぶ



- ✓ 脱炭素経営の重要性
カーボンニュートラルレッスン
- ✓ 脱炭素経営推進による
採用好事例企業紹介
- ✓ 自社に脱炭素貢献の
ソリューションがなくとも
脱炭素貢献が可能な
サークキュラーエコミー

日時

10月16日(水)
14:00~16:30

Day2

学生の「教育」「価値観」を
知る



- ✓ 現代の学生が考える
「良い企業」「良い地域」
- ✓ 「学生」から学ぶ
ゼロカーボン・地域貢献
- ✓ 「先生」から学ぶ
ゼロカーボン・地域貢献

11月8日(金)
14:00~16:30

Day3

自社の強みを採用活動に
繋げる



- ✓ 学生と共に考える
「魅力的な企業」の
発信方法
- ✓ 学生とともに考える
「新規事業の可能性」
- ✓ 脱炭素経営をベースとした
採用活動・採用計画への
ヒント

12月11日(水)
14:00~16:30

場所 長野市芸術館アクトスペース

主催 : 長野市 ・ 長野地域脱炭素実現推進協議会

学生が考える「良い企業」「良い地域」
を通じて “教育” “価値観” を知ることで
脱炭素経営推進による **採用力強化** を
考える機会としました。

内容

登壇者・主な参加者

Day1

- ・ カーボンニュートラルの基礎
- ・ 脱炭素を採用に結び付けた好事例

- ・ 協議会・BCG
- ・ 雲南市・雪ヶ谷化学工業

Day2

- ・ 学生アンケートの紹介
- ・ 脱炭素×就職先のパネルディスカッション

- ・ BCG
- ・ 大学生（信州大学、
長野県立大学、東京大学院）

Day3

- ・ 脱炭素×発信のグループディスカッション

- ・ 大学生
（信州大学、長野県立大学、
長野高専）



経営戦略としての「脱炭素推進」が採用に好影響をもたらす 企業価値向上セミナー・ワークショップに参加した 学生に“本音”を聞いてみました

事前に実施した “地方在住 高校生/全国 大学3年生・4年生を対象とした「企業の脱炭素取組み」に関するアンケート”をご覧になった企業の「人事採用責任者」においては、アンケート結果について、懐疑的に捉える方も多くいらっしゃいました。

そこで、ワークショップに参加した学生にもアンケート結果ご覧いただき、脱炭素推進のどのような側面を企業選択時に考えるのか率直な学生の声を聞いてみました。

学生コメント/原文通り

どのような企業が就活で気になるか

- “環境や地域への貢献を謳っており、実際にインパクトを与えていれば自分の自己肯定感も充たされて良いと考えている
- “給料や働きがい、組織風土など様々な検討要素の1つとして環境への取組みがあり、絞っていく段階でカーボンニュートラルを行っているかは大事な要素
- “給料や働きがいがあった上で、環境への取組みをしていたが方が、自分もチャレンジできる余地があるのでは、と感じて良い
- “どのような背景で環境への取組みをしているのか、経営理念とどうマッチしているのか、といったストーリーが見えると信頼度が上がり良い会社だと感じる

早期離職を防止するには

- “環境に共感して入ったのに、環境系のことができなかった・意味がないといった辞める人も多い
- “定量的なものより定性的なものが重要。上司との人間関係や、私生活含めた日々の生活がしんどくなくできるかは重要
- “自分が何をしたら良いか不明確な状態が一番つらい。環境に注力していれば指標が明確で、さらにそれが給与に紐づいていれば尚良い
- “雑談できる人間関係と成長環境のバランスが重要

環境から彷彿とされるイメージ

- “環境を気にする人は余裕があり、利他的な人が多いイメージがある
- “何かを「しなければいけない」ことが続く環境や自由に何かができない環境は精神的に摩耗するが、環境に注力する企業は余白が多く、心理的安全性が高い印象がある

企業の役員様・従業員様向けのGXセミナーにて脱炭素経営の重要性をお伝えしております

脱炭素経営が推進され始めると“脱炭素推進の重要性が経営企画ラインのみの理解に留まり、多くの従業員に理解が浸透しないということが起こります。それゆえ、経営戦略遂行のための脱炭素経営浸透に至らないという課題が発生することが分かりました。本課題を解決するために当社 長野支店メンバーが講師役を務め、企業の役員様・従業員様向けに脱炭素経営の重要性をお伝えする支援を行っております。

脱炭素社会実現のための
リーディングカンパニーとしての役割について 説明会次第

開催日時：令和6年11月28日 15:00～
会場：……

第一部 全社員対象説明会 15:00～15:50

次第：1. 開会の言葉（司会）
2. 第一部・第二部 説明会開催経緯について
3. 第一部説明会 講師者紹介（司会）
講師者：東京海上日動火災保険株式会社

議題
「
4. 質疑応答
5. 謝辞
6. 閉会の言葉（司会）
休憩（10min）

第二部 本支店・拠点の経営戦略説明会 16:00～16:50

次第：1. 開会の言葉（司会）
2. 第二部説明会（講師者第一部と同一）
議題
「お客様・地域・自社の価値向上に繋がる のストーリー」
3. 質疑応答
4. 謝辞
5. 閉会の言葉（司会）

- ・ 相談役、会長、社長同席での役員・従業員向けGXセミナー
- ・ 脱炭素経営の重要性と当社が持つ脱炭素ソリューション「地中熱・地下水熱利用」の価値と可能性をお伝えさせて頂きました。

御中

お客様・地域・自社の価値向上に繋がる
のストーリー

東京海上日動火災保険株式会社
長野支店 業務グループ マネージャー 田原 伸洋
November 28, 2024
資料作成者：田原 伸洋

東京海上日動

次の一歩の力になる。

- ・ 協同組合向け（小さなサプライチェーン）のGXセミナー。
- ・ 協同組合の会長を務める企業の社長同席の下、“小さなサプライチェーン”として具体的にどのようなことから始めることが できるのかについてもディスカッションを行いました。

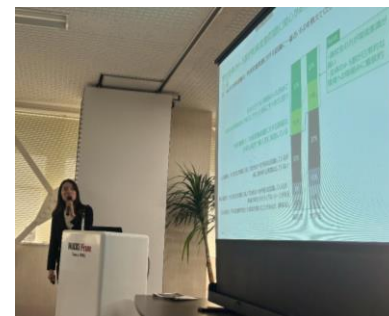
組合員の皆様

経営戦略としての「脱炭素推進」が
採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー

January 28, 2025

東京海上日動

次の一歩の力になる。



- ・ 長野県飯田市にて、飯田市・飯田商工会議所・飯田信金と連携したGXセミナーを開催。
- ・ 「人材採用」「人材育成」をテーマに同一参加者での2回のセミナーを行いました。

うごくる。脱炭素経営セミナー 飯田産業技術大学特別講座 講座コード：240402

GX GREEN
CO2排出量をゼロにすることがゴールではない
企業価値向上のための
「脱炭素経営」推進セミナー

開催の目的
「環境文化都市」を目指す飯田市では、2021年より飯田市、飯田信金、飯田商工会議所の3者で「2050年以降ゼロカーボンシティ（宣言）」し、地域ぐるみでゼロカーボンシティ実現に向け、歩みを進めています。今回は「脱炭素経営」を通じて、企業価値の向上と地域における経済と環境の好循環を実現するための具体的な実践的なセミナーを開催します。「人材に関するテーマも扱い、企業の経営課題解決につながる内容となっています。事業規模問わず、ぜひに参加ください。

日時 2025年
第1回 2月3日 月
(Day1)
第2回 2月12日 水
(Day2)

内容

第1回 (Day1)

脱炭素経営がもたらす
具体的な企業価値向上を知る

東京海上日動火災保険(GX)室

- ✓ 企業が脱炭素経営を推進するメリット
- ✓ 「企業」と「地域」を評価する新たなルール“CO2排出量”

・事例紹介およびお悩み共有

- ✓ 地元企業の脱炭素への取組状況（飯田信用金庫ほか）
- ✓ 脱炭素経営推進にあたってのお悩みについて

第2回 (Day2)

脱炭素視点での人材採用・
人材育成が会社を強くする

東京海上日動火災保険(株) 長野支店

- ✓ 「脱炭素経営」が採用に好影響をもたらす理由
- ✓ 現代の学生が考える「良い企業」「良い地域」

株主スキルアップNeXt

- ✓ 「攻めGX人材育成」による具体的なGX人材の輩出
- ✓ 環境省 脱炭素アドバイザー 資格認定制度「GX検定」



- ・ 長野県商工会議所 議員総会（長野市の議員企業の社長・会長のみが参加）にて「長野地域脱炭素実現推進協議会」事務局の立場として環境省・地域ぐるみでの脱炭素支援体制構築事業の取組報告を行いました。

令和6年度 環境省・地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築事業に係る報告資料



長野地域脱炭素実現推進協議会の取組報告

地域ぐるみでの脱炭素の取組が長野市の地域と企業の価値を向上させる

長野地域脱炭素推進BOARD
2025年3月17日

地域経済活性化及び脱炭素推進を目的とした長野県由来のカーボנקレジットを活用した 地域還元モデル 「わがまちカーボנקレジットNAGANOプロジェクト」

- ・ **長野県では、地域経済活性化及び脱炭素推進を目的とした長野県由来のカーボンクレジットを活用による地域還元モデル【わがまちカーボンクレジットNAGANOプロジェクト】がスタート。**（2025年5月27日 長野県庁にてプロジェクト推進企業での共同記者会見開催）
- ・ **ー 県民参加型の脱炭素プロジェクトが、共創と創造の力で長野を元気にする ー** というテーマにて、東京海上日動 長野支店がプロジェクト推進企業となり、2025年6月5日よりサービス開始致します。



[🔍 検索](#)
© 国 世界読み上げ Aa 文字サイズ・色合い変更 🌐 Foreign Language

防災・安全 | 暮らし・環境 | 健康・医療・福祉 | 教育・子育て | 仕事・産業・観光 | 社会基盤 | 県政情報・統計

ホーム > 県政情報・統計 > 広報・県民参加 > 脱炭素資料（プレスリリース） > 令和7年（2025年）3月プレスリリース資料 > 長野県由来のカーボンクレジットを活用する地域還元モデルプロジェクト「わがまちカーボンクレジットNAGANOプロジェクト」が始動します

長野県由来のカーボンクレジットを活用する地域還元モデルプロジェクト「わがまちカーボンクレジットNAGANOプロジェクト」が始動します

更新日：2025年3月18日

長野県（環境部・産業労働部）プレスリリース令和7年（2025年）3月18日

県民参加型の脱炭素プロジェクトが、共創と創造の力で長野を元気にする

長野県と株式会社環境未来研究所（株）共同で実施している東京海上日動火災保険株式会社が主導し、持続可能な未来の実現、脱炭素化の推進及び地域経済活性化を目的として、長野県由来のカーボンクレジットを活用する地域還元モデルプロジェクト「プロジェクト名：わがまちカーボンクレジットNAGANOプロジェクト」が始動します。

「わがまちカーボンクレジットNAGANOプロジェクト」とは！

＼長野県由来／
＼地域還元／
＼ゼロカーボン／

- 1 取組の概要**

 - 長野県由来のカーボンクレジット（J-Cレジット）をデジタル化し、企業・県民（個人）間で譲渡できるプロジェクトが始動
 - 本プロジェクトを通して、多くの企業がゼロカーボンに取り組み、企業価値を向上させるとともに、県民（個人）のゼロカーボンへの貢献を可視化することで県内における脱炭素化の推進と地域経済活性化の評価値を実現
- 2 プロジェクトの特徴**

 - カーボンクレジットの創出先：クレジットの売却により収入を得ることができる。
 - カーボンクレジットを活用する県内企業：企業価値の向上につなげることができる。
 - カーボンクレジットつきの商品を購入する県民：購買活動を通じて脱炭素化への貢献ができる。
- 3 プロジェクト推進企業**

・東京海上日動火災保険株式会社	・株式会社TOSYS
・ジャスミー株式会社	・株式会社日本旅行
- 4 運用開始日（予定）**

令和7年（2025年）4月22日＜アースデー・地球の日＞スタート
- 5 プロジェクトに関する問い合わせ窓口**

東京海上日動火災保険株式会社 長野支店
 担当：長野市東 業務グループ マネージャー 田中 伸洋 様
 TEL 026-224-0301
 E-mail mas@dfid.co.jp

関連資料

- プレスリリース資料（PDF：553KB）
- 「わがまちカーボンクレジットNAGANOプロジェクト」チラシ（PDF：1.24KB）



2050 ZERO CARBON
長野県脱炭素推進協議会

長野県(環境部・産業労働部)プレスリリース 令和7年(2025年)3月18日

～県民参加型の脱炭素プロジェクトが、共創と創造の力で長野を元気にする～
 長野県由来のカーボンクレジットを活用する地域還元モデルプロジェクト
「わがまちカーボンクレジット NAGANO プロジェクト」が始動します

長野県と包括連携協定を締結している東京海上日動火災保険株式会社が主導し、持続可能な未来の実現、脱炭素化の推進及び地域経済活性化を目的として、長野県由来のカーボンクレジットを活用する地域還元モデルプロジェクト **「わがまちカーボンクレジット NAGANO プロジェクト」** が始動します。

「わがまちカーボンクレジット NAGANO プロジェクト」とは！

＼長野県由来／

＼地域還元／

＼ゼロカーボン／

1 取組の概要

- ・長野県由来のカーボンクレジット（J-クレジット）をデジタル化し、企業・県民（個人）間で循環させるプロジェクトが始動
- ・本プロジェクトを通して、多くの企業がゼロカーボンに取り組み、企業価値を向上させるとともに、県民（個人）のゼロカーボンへの貢献を可視化することで県内における脱炭素化の推進と地域経済活性化の好循環を実現

2 プロジェクトの特徴

- ・カーボンクレジットの創出者：クレジットの売却により収入を得ることができる。
- ・カーボンクレジットを活用する県内企業：企業価値の向上につなげることができる。
- ・カーボンクレジット付きの商品を購入する県民：購買活動を通して脱炭素化への貢献ができる。

3 プロジェクト推進企業



東京海上日動



TOSYS



jasmy



日本旅行

・東京海上日動火災保険株式会社 ・株式会社 TOSYS
 ・ジャズミー株式会社 ・株式会社日本旅行

4 運用開始日（予定）
 令和7年（2025年）4月22日 <アースデー・地球の日>スタート

5 プロジェクトに関する問い合わせ窓口
 東京海上日動火災保険株式会社 長野支店
 担当：長野支店 業務グループ マネージャー 田原 伸洋 様
 TEL 026-224-0301 Email mail@909@tmnf.jp

(問合せ先)

担当 環境政策課ゼロカーボン推進室
上條、土屋、千明

電話 026-235-7022 内線 2724
FAX 026-235-7491
電子メール zerocarbon@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

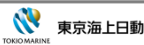
担当 産業政策課企画担当
伊藤、鈴木

電話 026-235-7205
FAX 026-235-7496
電子メール sansei@pref.nagano.lg.jp

地域経済活性化及び脱炭素推進を目的とした長野県由来のカーボנקレジットを活用した地域還元モデル 「わがまちカーボנקレジットNAGANOプロジェクト」



地域経済活性化及び脱炭素推進を目的とした
長野県由来のカーボנקレジットを活用による地域還元モデル



※「わがまち」および はジャスミー株式会社の登録商標です。

1 「わがまちカーボנקレジットNAGANOプロジェクト」の目的

「社会変革、経済発展とともに実現する持続可能な脱炭素社会づくり」を通じて、
確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創るため」

- ・長野県地域経済の活性化
- ・脱炭素推進のための県民の機運醸成と具体的な取り組みの促進

2 「わがまちカーボנקレジットNAGANOプロジェクト」の内容

プロジェクト推進企業4社は以下の取組を行うことで、地域経済活性化と脱炭素推進に貢献致します。

- ・長野県には、脱炭素推進に貢献できる森林や水田などの自然資本が豊富にあることから、長野県由来のカーボנקレジット創出促進を行う。
- ・カーボנקレジットをデジタルデータ化することで、長野県由来のカーボנקレジットを企業・県民（個人）間にて循環できる仕組みを構築する。
- ・「わがまちカーボנקレジットNAGANO」を付帯した商品・製品（旅行・イベント含む）を販売。することで既存の事業を通じて脱炭素推進に貢献できる仕組みを提供する。
- ・「わがまちカーボנקレジットNAGANO」をデジタルデータにて提供することで、県民（個人）がスマートフォン等での脱炭素推進「貢献」の「見える化」を実現し、貢献を実感できる仕組みを提供する。
- ・「わがまちカーボנקレジットNAGANO」が付帯された商品・製品を購入した県民（個人）が貯めた「わがまちカーボנקレジットNAGANO」を企業に寄付することで、返礼品や割引・クーポンの受け取りが可能となる具体的なメリットを受ける

わがまちカーボנקレジットNAGANO「創出」
企業への売上UPとして還元
（県内企業）商品・製品の付加価値向上→
販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
※長野県内での販売・購入

わがまちカーボנקレジットNAGANO「創出」
企業への売上UPとして還元
（県内企業）商品・製品の付加価値向上→
販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
※長野県内での販売・購入

わがまちカーボנקレジットNAGANO「創出」
企業への売上UPとして還元
（県内企業）商品・製品の付加価値向上→
販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
※長野県内での販売・購入

わがまちカーボנקレジットNAGANO「創出」
企業への売上UPとして還元
（県内企業）商品・製品の付加価値向上→
販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
※長野県内での販売・購入

わがまちカーボנקレジットNAGANO「創出」
企業への売上UPとして還元
（県内企業）商品・製品の付加価値向上→
販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
※長野県内での販売・購入

わがまちカーボנקレジットNAGANO「創出」
企業への売上UPとして還元
（県内企業）商品・製品の付加価値向上→
販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
※長野県内での販売・購入

わがまちカーボנקレジットNAGANO「創出」
企業への売上UPとして還元
（県内企業）商品・製品の付加価値向上→
販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
※長野県内での販売・購入

わがまちカーボנקレジットNAGANO「創出」
企業への売上UPとして還元
（県内企業）商品・製品の付加価値向上→
販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
※長野県内での販売・購入

わがまちカーボנקレジットNAGANO「創出」
企業への売上UPとして還元
（県内企業）商品・製品の付加価値向上→
販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
（県外企業）商品・製品の付加価値向上→販売価格一歩UP
※長野県内での販売・購入

創る

林業・農業

どのような想いをもった企業・人が購入するのが分からない

新たな仕事が増えたい大変そう

取り扱う

企業

販売する商品のみの価値

エシカル・サステナブルな商品・製品の取り扱いがない

使う

県民・個人

貢献が実感できないわからない

長野県のためになることに貢献してみたい

環境価値付き商品に

興味のある企業の皆様

長野県の地域活性化と脱炭素に貢献したい企業・人が購入

既存の事業のままで創出可能（例：水田中干し延ばしカーボנקレジット）

割引・返礼品を通じて脱炭素に

貢献したい企業の皆様

商品 + CO₂削減価値購入者へ更なる価値提供

エシカル・サステナブルな商品と求めている人に価値が伝わる

貢献の「見える化」実現

長野県の地域活性化および脱炭素推進に貢献



長野県由来のカーボנקレジットを活用した地域還元モデル「わがまちカーボנקレジットNAGANO」循環の仕組み

「カーボנקレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減等により、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国の認証する制度です。本制度は、国のクレジット制度と「わがまちカーボנקレジット（J-VER）」制度を有機的に統合した制度で、国により認定されています。本制度により創出されたクレジットは、経団連カーボナートラドル取引所の目録達成クレジット・オフセットなど、様々な用途に活用できます。

「わがまちカーボנקレジットNAGANO」を「企業」が購入し、商品・製品の販売を通じて「購入者（個人）」に「わがまちカーボנקレジットNAGANO」を提供

COUPON

割引クーポン

返礼品

企業への応援として「購入者」が「わがまちカーボנקレジットNAGANO」を「企業」へ重畳（寄付）（企業より贈りとしての返礼品・割引クーポンなどあり）

【-CO₂】オフセット（換算）による削減効果



長野県由来のカーボנקレジット創出支援（クレジット/森林・水田等）



脱炭素推進取組の「貢献が見える」仕組み

購入者への「わがまちカーボנקレジットNAGANO」配布イメージ

①企業が「わがまちカーボנקレジットNAGANO」を購入し、自社の商品・製品に付帯

20t-CO₂保有のクレジットを使って、商品1台につき25kg-CO₂のクレジットを添付して販売（125円/台×800台＝10万円）＊

＊5,000円/t-CO₂の場合でのオフセットと異なり、添付するクレジット量は任意に設定可能（原表法等の制約あり）

②購入した商品からQRコード等を介して「わがまちカーボנקレジットNAGANO」を購入者が取得し、購入者自身のウォレットアプリに登録

購入者はクレジット取得用のQRコードが記載された裏面に貼付（販売元の貼付方法を自由に設定可能）自分のウォレットアプリに登録

購入者は、販売店からの書類に記載されたQRコードを自分のウォレットアプリで読み取ることでクレジットを受け取る

③保有している「わがまちカーボנקレジットNAGANO」を企業（店舗・販売店）に寄付

ウォレットアプリから、地域内の企業（店舗・販売店）を選択し、その企業に対してクレジットを寄付＝返礼品・割引クーポン等を御礼として提供

クレジットを受け取った企業は、取得したクレジットを自社でカーボンプオフセットを行い、寄付者（利用者）に対しては返礼品・割引クーポンを交付

④「わがまちカーボנקレジットNAGANO」を受け取った企業は返礼品・割引クーポン等を寄付者・利用者に提供

クレジットを受け取った企業は、取得したクレジットを自社でカーボンプオフセットを行い、寄付者（利用者）に対しては返礼品・割引クーポンを交付

クレジットを受け取った企業は、取得したクレジットを自社でカーボンプオフセットを行い、寄付者（利用者）に対しては返礼品・割引クーポンを交付

※「わがまち」および はジャスミー株式会社の登録商標です。

お客様や社会の
“いつも”を支え、
“いざ”をお守りする。



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動